

2024 年度 第 4 回 研究例会

実施日：2025 年 3 月 19 日 @社会福祉学部棟 301 講義室

報 告 者：准教授 瀧井美緒

報告テーマ：「支援者支援への取り組み」

【報告要旨】

適切な受診や相談行動につなぐことができるよう、身体・精神症状でつらい思いをする前に予防する取り組みを進めると同時に、相談の受け手となる支援者の知識や理解を高められるような支援者支援に向けた取り組みを行ってきた。特に医療機関につながる手前には学校教育現場や福祉現場がファーストレスポnderになっていることが多い点に着目し、研究を進めている。

ほぼ毎日、同年齢/同年代が一つの場に集まるのは学校現場のみであり、そのような場である学校は Universal Prevention を行いやすい。効果的な実践のためには、児童生徒や保護者、教職員をアセスメントする必要があるが、そのためには知識が重要となる。たとえばこれまで実施した調査研究から、文部科学省によって示されている睡眠教育に関する内容は教員の実施が想定されているにも関わらず、正しい知識を持っているとは言い難いことが明らかとなった。

また、トラウマ体験（災害や事件、事故等）後の支援にはさまざまなソーシャルサポートが重要とされているが、体験者自身から訴えがない場合も少なくないため、支援者の気づきや支援内容がその後の回復の過程にも影響する。しかし、トラウマについても医師や看護師、教員等の対人援助職、ならびに災害派遣福祉チームのチーム員を対象とした調査では、トラウマに関連する認識や対応方法について、支援職以外の一般の人々とあまり変わらない、漠然としたイメージや間違った認識を持っていることが明らかとなった。

支援者が適切な知識や理解を持つことで、自身の専門性の中で適切な支援を行うことにつながるだけでなく、他職種を尊重した多職種連携や支援者自身のバーンアウト等への予防につながることを期待される。今後も対象者や支援者にも還元できる研究を進めていきたい。